

平成二十六年 未さん申さん達の田作り ～第八期大椎っ子田んぼ 第五期あすみっ子田んぼ 脱穀編～

あすみ小は10月27日、大椎小は29日に脱穀作業を行ないました。谷津田で使用している足踏み脱穀機や千歯こき、唐箕や籾摺り（もみすり）機を先生方に運んでいただき、毎年、学校で作業を行なっています。作業は、①稲束から籾を脱穀したら藁選り（わらすぐり）もする、②脱穀した籾にまざっているわらくずを風選、籾摺りし玄米にする ③選った藁で縄なえをする（あすみ小では後日、藁なえの時間を設けました）という作業行程です。

①と③は実際に子ども達が作業し、見慣れない機械や道具に興味津々、また、藁をねじったり編んだりといった手先を使う作業に悪戦苦闘していました。②の作業は、地元の方からお借りしている唐箕がかなり古いこと、籾摺りの機械の扱いも難しいことなどから、金谷さんが作業し機械の仕組みやもみが玄米になるまでの過程を説明してくれました。そして、今回の作業で1年間の田作りが終了ということもあり、全体の作業が終わった後、金谷さんから命をはぐくんでいる田んぼのお話をしていただき、1粒のお米の大切さを子ども達1人1人が実感しているようでした。そんな子ども達の感想です。

■大椎小学校

☆私は最初に風選の見学をしました。金谷さんがもみすり機をかけた後の玄米ともみをさわった時、もみがらさふさして気持ちよかったです。次になわないをしてなわを作りました。最初はむずかしかったけど、なわができてくると楽しくなりました。最後に脱穀機でもみをとるのもすごくかんたんにできて、楽しかったです。

(A.I)

☆今回、脱穀作業で一番大変だったのは、脱穀機で稲束からもみをはすすことでした。足踏み脱穀機を使ったのですが、最初は足ばかり見てしまい、手を動かさませんでした。でも、やり方を覚えると上手に動かすことができたので良かったです。なわのないでは、わらをあんでいくのがとても楽しかったので、すこし長くなってしまいました。(Y.O)

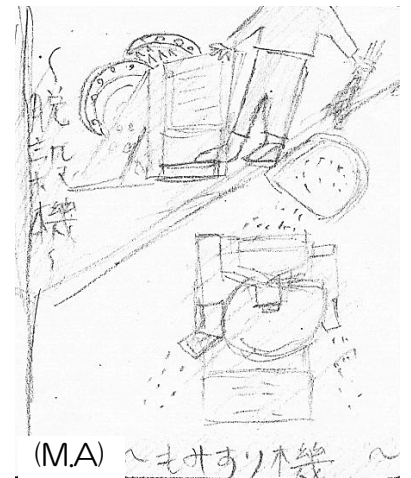
☆今日は脱穀、わらすぐり、風選、もみすりをやりました。脱穀は、足踏み脱穀機を使って、稲束からもみをはすしました。足踏み脱穀機には板がついて、それを踏むとたくさんの針金がついたドラムが回って脱穀できる仕組みになっていました。もみすりはインペラもみすり機を使って、もみをもみがらと玄米とにわけました。お米の1つぶ1つぶにも命があるということをおそわりました。(Y.Y)

☆私は、始めにならないをしました。みじかいなわを4つ作ってすべてつなげました。わらをねじるところが少しむずかしかったけれど、たくさんできたので、うれしかったです。脱穀は、最初に足踏み脱穀機でもみをだいたいとったあとで、千歯こきで1つぶ残らずとるようにしました。その時、お手伝いのお母さんが「きれいにとれているね」と言ってくれたので、やる気がわいてきました。唐箕はかなり昔につくられたものだ聞いたので、昔の人は、お米に対する感謝の気持ちを持ちたり努力する人が現代よりたくさんいたんだと思いました。ならないで作ったなわは、友達のなわとつなげて、とても長くなりました。楽しかったです。(T.K)

☆私は、脱穀をしりわらでなわをつくったりしました。最初にわらでなわをつくりました。2本できたので、せっかくだから友達のなわとつなげてなわとびを作りました。ちゃんと飛べたので、うれしかったです。稲束からもみを取るときは、千歯こきの歯にあたってたくさんのお米が飛ぶようにとれたのでおもしろかったです。もみすり機を分解して機械の中を見せてもらいました。機械の中がすごく入り組んでいたのも、とても楽しかったです。お米をつくる作業はとても楽しかったです。(M.D)

☆金谷さんがもみすりでもみがらと玄米と分別している時にさわらせてくれました。もみがらは手にいっぱい持ってもティッシュ1枚くらいの重さでした。千歯こきで脱穀する時に、稲束を歯の上方から下の方まで抜きました。ぬく時にもみがいっぱいとれて気持ちよかったです。(K.A)

☆YPPのみなさん、ありがとうございました。私は脱穀という作業を初めて知り、初めて体験しました。脱穀のほかにもいろいろな体験もできました。藁なえでは最初はわらがゆるんでしまっ、うまくできませんでしたが、最後はゆるまずうまくできました。脱穀では、足踏み脱穀機でやるのが緊張したけどけ



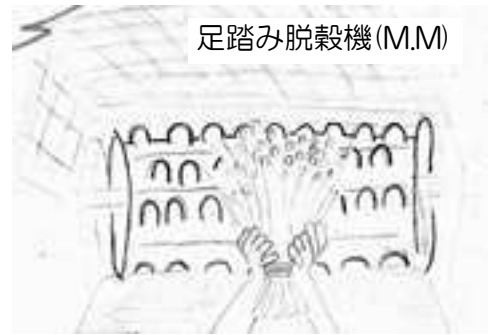
(M.A)

～もみすり機～



(K.A)

がなく、もみもきれいにとれてよかったです。風選では、金谷さんが唐箕を動かしています。唐箕はハンドルをまわして風の力を使ってもみとわらくずとに分けていることはわかりましたが、くわしいことはわかりません。もみすり機あとのもみがらと玄米をさわって比べてわかったことがあります。もみがらは軽くてさらさらしていて、玄米はもみがらよりは重くて冷たかったです。玄米を食べてみましたが、ゴリゴリしていて少し苦かった気がします。玄米の中に緑色の米が混ざっていました。この米は5000粒に1粒の確立で混ざるそうです。人が食べても害はないようです。唐箕や脱穀機などに興味をもてました。金谷さんが、作業する最初と最後に、日本の食べ物の20%は捨てられていると話してくれました。私は米つくりの仕事の大変さも感じ、食べ物の大切さもわかったので、これからは食べ物は残さず食べたいです。(M.M)



足踏み脱穀機(M.M)

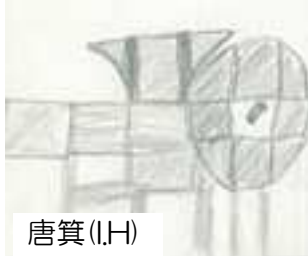
■あすみが丘小学校

☆私はあすみ田んぼの脱穀をしてみて、思った事は、お米を作っている人の大変さです。今では、かんたんいろいろな便利なきかいがあるけれど、昔の人は大変な思いをして、米を食べている事がすごいと思います。私はいつもお金をはらって食べたりして、かんたんにお米を食べているけれど、作って食べている人はとても大変だと思います。なので、私はこれから、お米を一つひとつ大切に残さずあじわって食べていきたいと思っています。いつもお米の事を教えてくれてありがとうございました。(M.I)

☆私は今日、あすみ田んぼで稲刈りをした時の稲を脱穀しました。脱穀の仕方は「足踏み脱穀」と「千歯こき」の2種類でした。私は「足踏み脱穀機」で脱穀しました。最初、前の人が見たら、かんたんそうに見えたけど、自分の番になった時、やってみたら、とってもむずかしかったです。脱穀をした後に「もみとり」をしました。少しとれていない部分をとりました。その後は「わらすぐり」をしました。わらすぐりをする事で、わら細工のためになるという事がわかりました。金谷さんは「1分間に28人の人間が死んでいる。」と言っていました。私は「食べ物をありがたください、のこさずに食べよう。」と思いました。(A.N)



(A.N)



唐箕(I.H)

☆今日は脱穀をやりました。脱穀は遊びでもなく体験でもなく仕事をしました。もみとりは稲からもみが残らないように1つぶ1つぶを大切にしました。脱穀は私は足踏み脱穀機でやりました。最初はふむタイミングがつかめなかったけど、やっているうちにタイミングをつかんで少しずつできるようになりました。金谷さんの話では、お米が食べられなくて1分間に28人の人々が命を失うと聞いて、お米が食べられて私達はとても幸せなんだなあと感じました。あすみ田んぼでは、お米1つぶ1つぶを大切に食べようとあらためて思うことができました。あすみ田んぼができたのはYPPの方やボランティアの人や金谷さんの話、協力があってできたと思うので感謝がいっぱいです。12月にお米を食べるのがとても楽しみです♪脱穀も良いお仕事ことができました。(Y.H)

☆私は今日はじめて「だっこく」をしました！思ったより、とってもむずかしかったです。最初に、かなやさんに「命」の大切さを学びました。1分間に「28人」がご飯がなくて亡くなったんだそうです。なのでご飯1つぶ1つぶを大事に食べようと思います。私がこの作業をして一番目むずかしかったのが、「足踏みだっこくき」です。気をつけた所は、回っている所に「手」をいれないように気をつけました。今度、「冬」に、そのご飯を食べるのがとても楽しみです。(H.W)

☆ぼくは脱穀を初めてやってみてすごくむずかしかったです。最初、金谷さんに機械の中をみさせてもらって中のことがすごくわかりやすかったです。次に脱穀の作業をしてみました。ぼくは足踏み脱穀機を使っていねを脱穀しました。足でペダルをこぐのが楽しかったです。金谷さんのはなしを聞いて1分で28人の命がなくなると聞いて、一つぶでも残していけないとわかりました。だから今度からは残さないようにしたいと思いました。(K.E)

☆だっこくをしました。稲から粉をとりました。かなやさんが、ごはんが食べれない人が1分に28人死んじゃうそうです。1時間で1680人が死んでしまうそうです。だから、一つぶ一つぶのこさないで食べたいと思いました。玄米を食べてみると、とてもかたく、50回で食べれました。アゴがきたえられそうです。わらでつなげてなわをつくりました。短いけどちょっとした宝になりました。(I.H)

☆ぼくは脱穀を初めてやってみてすごくむずかしかったです。最初、金谷さんに機械の中をみさせてもらって中のことがすごくわかりやすかったです。次に脱穀の作業をしてみました。ぼくは足踏み脱穀機を使っていねを脱穀しました。足でペダルをこぐのが楽しかったです。金谷さんのはなしを聞いて1分で28人の命がなくなると聞いて、一つぶでも残していけないとわかりました。だから今度からは残さないようにしたいと思いました。(K.E)



(T.K)



里山たんけんレポート

第178回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2014年11月2日(日) 晴れ

草木が紅葉し始め、ガマズミ、ムラサキシキブなどの木の実も彩りを添え、すっかり秋の色合いが濃くなりました。田んぼではゆでだこの様に赤くなったタコノアシや蓼食う蟲も好き好きのヤナギタデが花を咲かせ葉を赤く染めています。その葉を噛んで辛みを味わったり、ロゼットに花を付け始めたちょっぴりピリ辛のサラダに良さそうなタネツケバナを食べたり、ハッカの葉を口にして清涼感を味わったりしました。気温が上がって虫たちもたくさん見られました。80cmほどの紅葉したヌルデの若木に何故かツチイナゴが5頭もいました。他の何種かの虫もその若木で見られました。なんでヌルデがこんなに虫たちに好まれるのか不思議でした。トンボの調査も継続して行いました。19頭捕らえた内半数はマユタデアカネでした。オオアイトトンボや越冬するホソミオツネトンボも見られました。斜面林からはアブラゼミの鳴き声が聞こえ驚きました。冬鳥、一番乗りのアオジの地鳴きも聞け、空高く猛禽の飛翔も見られました。秋の谷津を満喫した観察会でした。
(参加者 大人9名、高校生3名、こども2名; 報告: 網代春男)

第168回 下大和田 YPP「緑米・赤米の脱穀」(第11回米づくり講座)

2014年11月8日(土) くもり

2週間前に刈った緑米と赤米の脱穀をしました。天気が下り坂だったので早めに作業を始め、空模様とにらめっこでしたが、脱穀機が調子よく動いてくれたので、午前中には脱穀を終えることができました。今年の田んぼでの作業はこれでおしまい。オダが片付いた田んぼがとても広く感じられます。
(参加者 大人19名、子ども8名 報告 高山邦明)

第169回 下大和田 YPP「もみすり」(第12回米づくり講座)

2014年11月15日(土) 晴れ

今日は米作り最後の工程「粳すり」です。例年通り千葉市の農政センターで粳すりを行いました。粳すり機2台、フル稼働で、コシヒカリ、農林1号、緑米、黒米、赤米、MIXの6種の粳すりをしました。こども達も大活躍、粳を絶え間なく機械に投入してくれました。粳すりに参加した方にはお米を分配しお持ち帰りいただきました。当日、参加できなかった方には収穫祭の時にお渡しすることになっています。好天に恵まれみんな揃って楽しくお弁当を食べました。
(参加者 大人17名、子ども5名 報告 網代春男)



もみすり



脱穀

第114回 小山町 YPP「緑米の稲刈り」

2014年11月22日(土) 晴れ

遅れている小山の稲刈りはいよいよあと緑米の田んぼ2つになりました。集落のある広い谷津から枝分かれした狭い谷津は日当たりが今一つ。その上、今年は残暑がほとんどないままに秋の訪れになってしまったせいか、9月に花を付けて実り始める緑米は実の入りが悪いようです。日当たりが特によくない田んぼの縁沿いは穂が立ったままでもみは中が空っぽでした。やむなく、実っていない稲は田んぼに刈り倒しました。稲刈りが終わった田んぼにはマユタデアカネが来て卵を産んでいました。

その後、平日を含めて稲刈りを続け、11月中にほぼ刈り終えることができました。脱穀ともみすりは師走の作業です。

(参加者 大人4名、報告 高山邦明)



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 11月15日 ジョウビタキが終始鳴き続ける。アシ原ではアオジの地鳴きがにぎやか(高山)。
11月19日 ツグミの声を初めて聞く。田んぼにカシラダカが来ていた(高山)。
11月22日 田んぼにマユタテアカネが来て卵を産んでいた。斜面林の縁でオオアイトトンボがふわりふわり飛ぶ(高山)。

下大和田

- 11月2日 観察会の日 アブラゼミがまだ鳴いていた(網代)。
11月8日 山のシラカシの周辺に輪を描いて白いキノコがたくさん出ていた(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 第 170 回「収穫祭とおもちつき」(第 13 回米づくり講座) 第 171 回「どんど焼きと昔あそび」

いよいよお楽しみの収穫祭、みんなで育てた緑米を使ってのおもちつき、コシヒカリの試食など、今年最後の田んぼでのイベントをみんなで盛り上げましょう。そして、年明け最初はどんど焼きからスタート。暖かな火を囲みながらけん玉やベイゴマなど昔ながらの遊びを楽しみます。

日時: 収穫祭 2014年12月13日(土) 9時45分~14時

どんど焼き 2015年 1月17日(土) 9時45分~14時

場所: 脱穀 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:25、8:40など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、収穫祭ではお皿・お椀・はし、どんど焼きの時は、昔あそびの道具、どんど焼きで燃やしたいものなど。

参加費: 収穫祭 小学生以上一律500円(食材費を含む特別料金です)、小学生未満無料

どんど焼き ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第 180 回 下大和田 1 月の谷津田観察会とごみ拾い

新春の谷津を冬季にしか入れない下流部まで巡ります。普段見られない景観を楽しみます。

日時: 2015年1月4日(日) 9時45分~12時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田 YPP に同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時: 2014年12月14日(日)、12月19日(金) いずれも9時45分~15時

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上) 持ち物: 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催: ちば環境情報センター

▼第 114 回 小山町 YPP「脱穀とモミすり」

最後に残った作業の脱穀とモミすりをします。

日時: 2014年12月14日(日) 10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴(田んぼが深いので長めがいい)、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 今年も緑米や赤米の実りが悪かったようです。小山では赤米の三分の二くらいの穂が立ったままで、モミの中味が空っぽでした。緑米も分けつが今一つで、日当たりが悪いところはモミが空です。今年も残暑がほとんどなく、すぐに秋の涼しさになってしまったのが原因でしょうか? 収穫が終わってしばらくは農閑期に入ります。今年を振り返り、来年の田んぼの活動についてゆっくり考えるよい時期です。(高山 邦明)